

静岡市立新通小学校



出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和7年6月3日(火)

静岡市立新通小学校の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、さまざまな古代体験を行いました。

土器の分類体験



縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。

<児童の感想>

土器の破片だけで見分けるのが難しかったが、それぞれの土器で、色や模様、音などの異なり、特徴がよく分かった。



石器の試し切り体験



黒曜石製の石器で紙や野菜を切る体験をしました。

<児童の感想>

最初は難しかったけど、石器を押し込むようにして切ると切りやすいことが分かった。こつを掴んでからは、キャベツの固い芯や人参もらくらく切れて、楽しかった。



火起こし体験



舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

<児童の感想>

雨で湿気が多かったので火を起こすまで時間がかかったが、火を起こせたときに達成感があった。昔の人はこれを毎日やっていたなんてすごいと思った。



発掘調査と周辺遺跡の話



埋蔵文化財センターの仕事についての話を聞き、学校周辺にどんな遺跡があるのかを学びました。

<児童の感想>

駿府城や登呂遺跡は知っていたが、新通小学校の周りには他にもたくさんの遺跡があることを知って、驚いた。



<先生方の感想>

縄文時代と弥生時代の授業では、当時の想像図を見ながら学習を進めましたが、今回実際に体験することで当時の人々の暮らしについて深く理解したり、昔の人の偉大さに気づけたりしたと思います。

